

仮想化で実現する次世代型アプリケーションマネジメント

Softricity SoftGrid のご紹介

Virtualize. Centralize. Accelerate.



SOFTBANK BB Corp.
BBソリューション推進部



Softricityとは？

- 会社概要
 - 新技術Application Virtualization(アプリケーションの仮想化)
 - 1999年設立
 - 本社: 米国(ボストン)
 - 米国をメインに欧州12カ国で展開
 - 400社以上の大手企業に導入実績
- 戦略的なパートナーシップ
 - Microsoft
 - HP
 - vmware
- 法人向け製品の開発・販売
 - SoftGrid Platform(ソフトグリッドプラットフォーム)



SoftGrid製品概要



現在の企業システムの課題

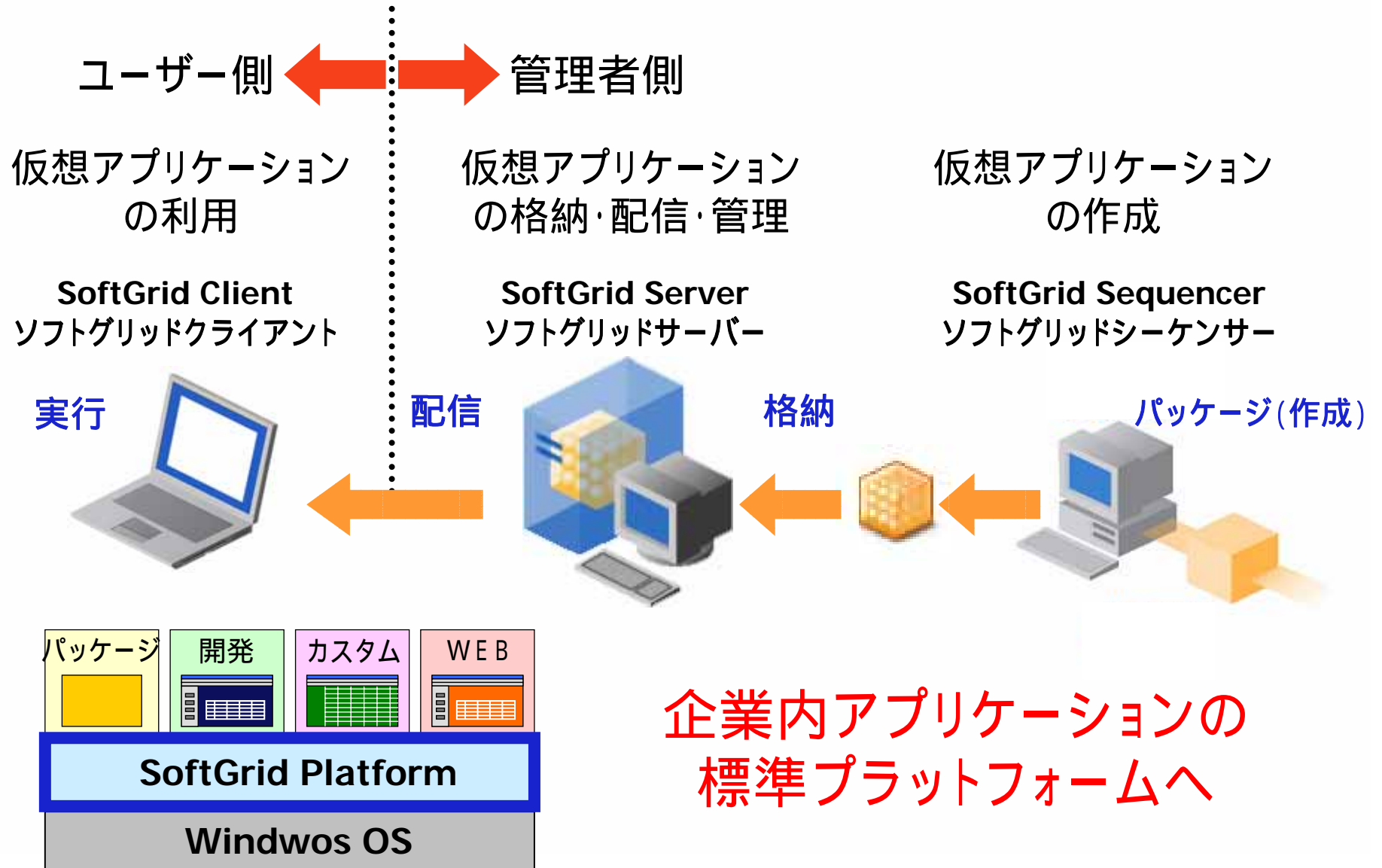


- バージョン統一したいのに・・・
- 複数バージョンの並行稼働できれば・・・
- アプリケーションコンフリクトからの脱却できれば・・・
- インストールに時間がかかって・・・
- 修正パッチの適用がわずらわしい・・・
- 新しいPCを導入するけど、アプリケーションの導入は・・・
- 集中管理、ライセンス管理、利用状況把握したい・・・

SoftGridのテクノロジーが解決へと導きます。

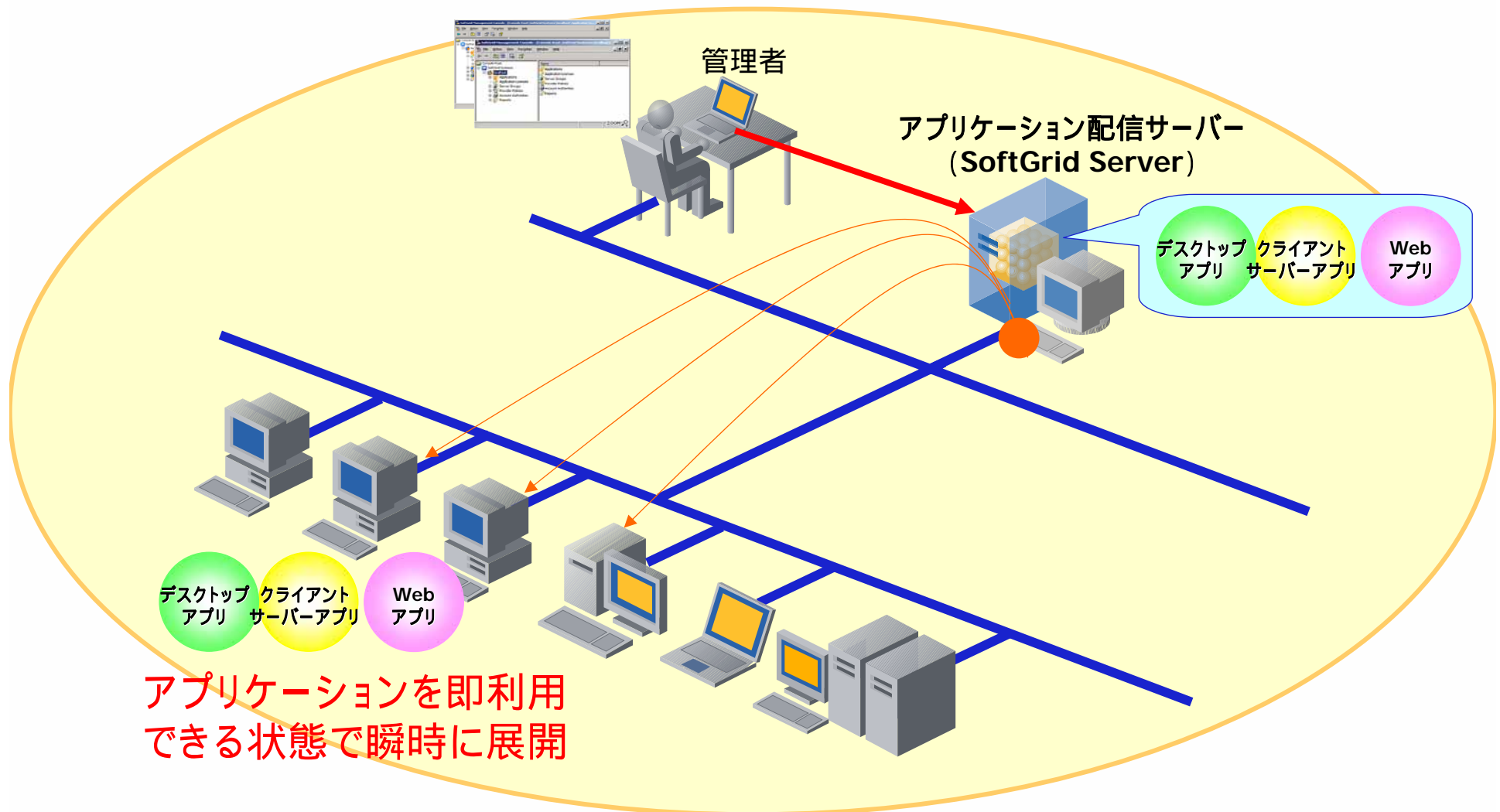


SoftGrid の3つの製品構成



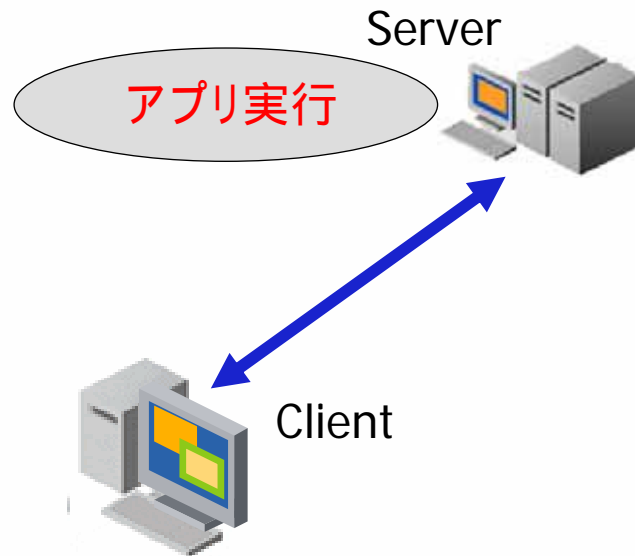
企業内アプリケーションの
標準プラットフォームへ

SoftGrid全体構成イメージ

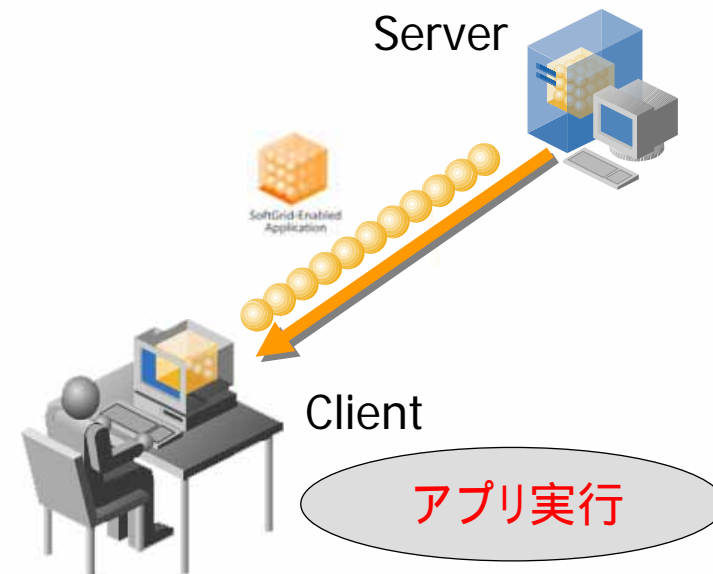


Server-Based Computingとの違い

- Server-Based Computing



- Virtual Application Computing



クライアントではサーバーの画面を操作
サーバーのリソースを利用
ネットワーク接続必須

クライアントでは実アプリケーションを操作
クライアントのCPU、HDD、メモリを利用
オフラインでの利用可

SoftGridの3つのテクノロジー



Application Virtualization



On-Demand Delivery



Policy-based Management



SoftGrid Platform

アプリケーションの仮想化 ~ Application Virtualization ~



Application Virtualization



On-Demand Delivery



Policy-based Management

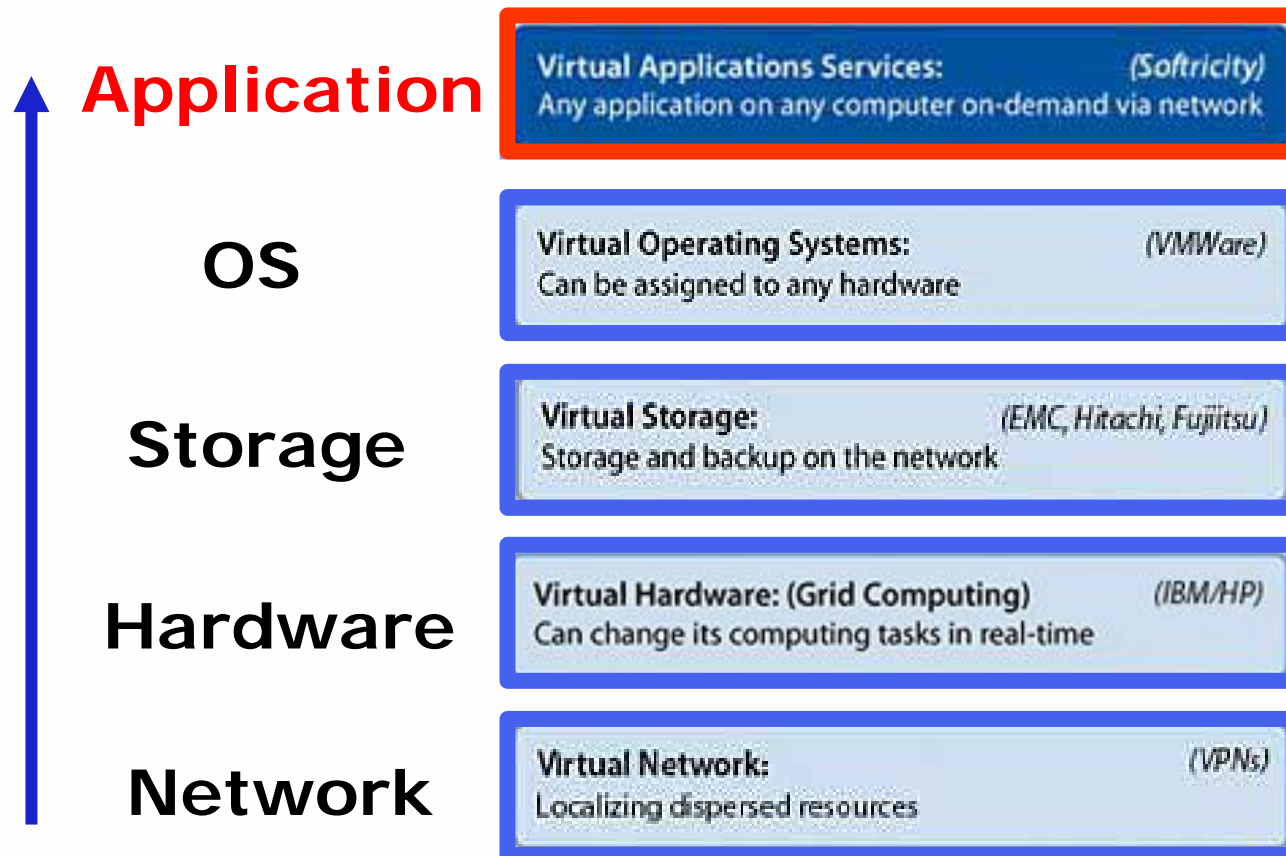
仮想化

展開

集中化

SoftGrid Platform

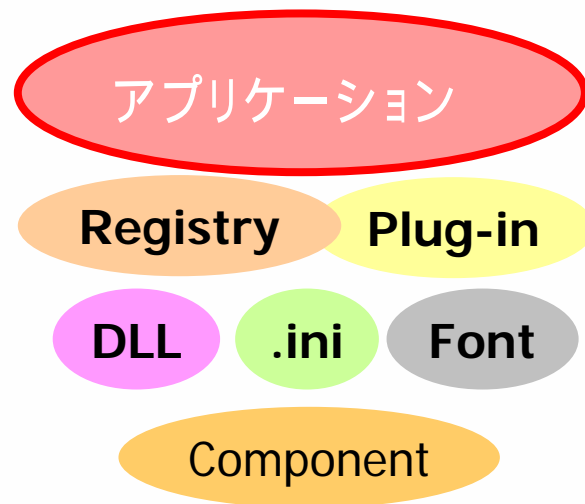
それぞれのレイヤーでの仮想化技術



仮想アプリケーションの作成

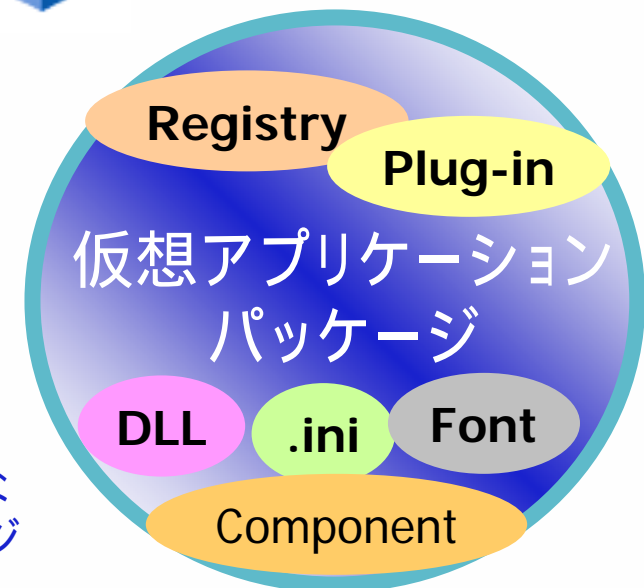
SoftGrid Sequencerの独自のパッケージング技術により、通常のアプリケーションをRe-codeすることなく、配信可能なファイルに変換

通常のWindows
アプリケーション



SoftGridでの
仮想アプリケーション

アプリケーションの動作に必要な
コンポーネントと一緒にパッケージ



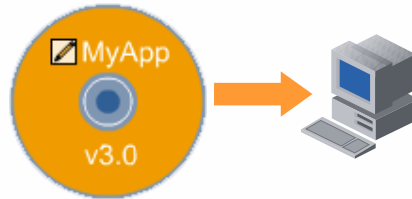
通常よりも圧倒的に可動性の高い
アプリケーションへ

Sequencer独自のパッケージング技術

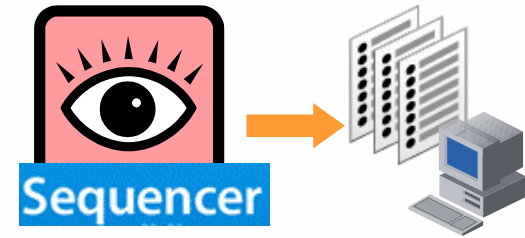
Sequencerを起動し、パッケージ作業の準備をウィザードに沿って進む



実際にSoftGridで利用したいアプリケーションをインストール

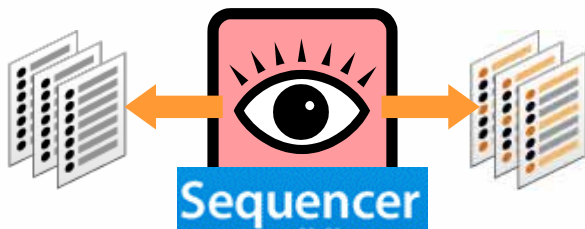


Sequencerがインストール情報をキャプチャリング

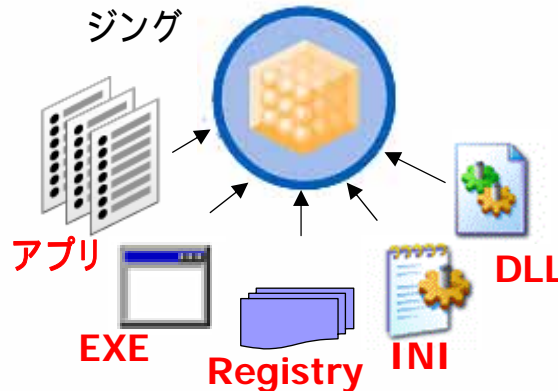


パッケージング最大の特徴

Sequencerがインストール前の状態と後の状態を分析



EXE、Registry、DLL、INIファイルなどのアプリケーションが稼動するための情報を含めてパッケージング



最終的に4つのファイルが作成されます。



OSDファイル



SFTファイル



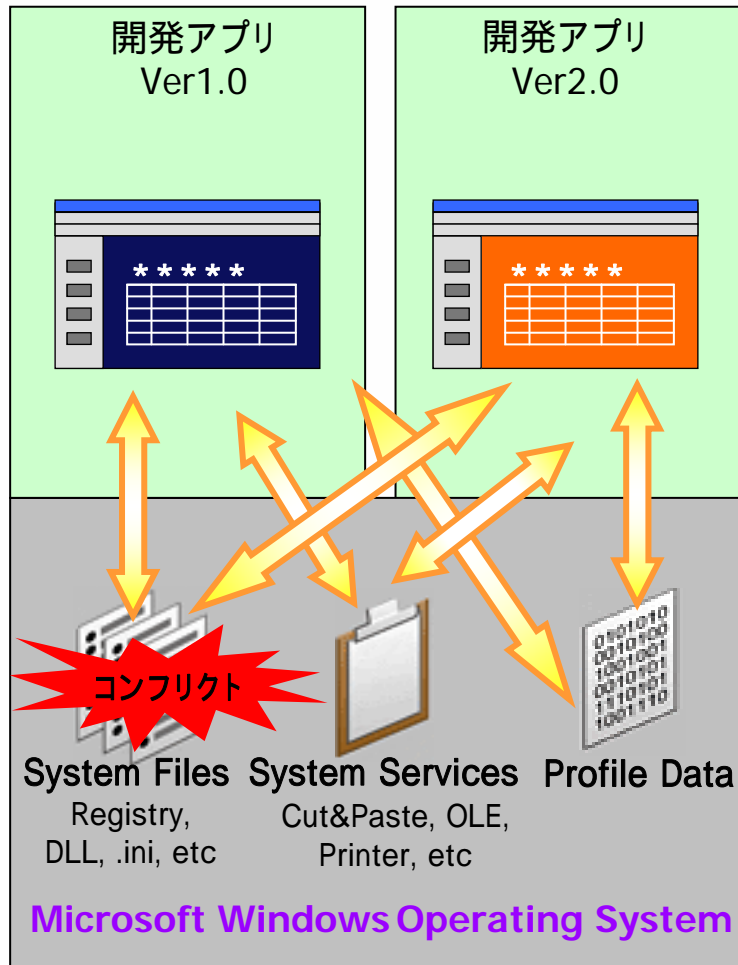
SPRJファイル



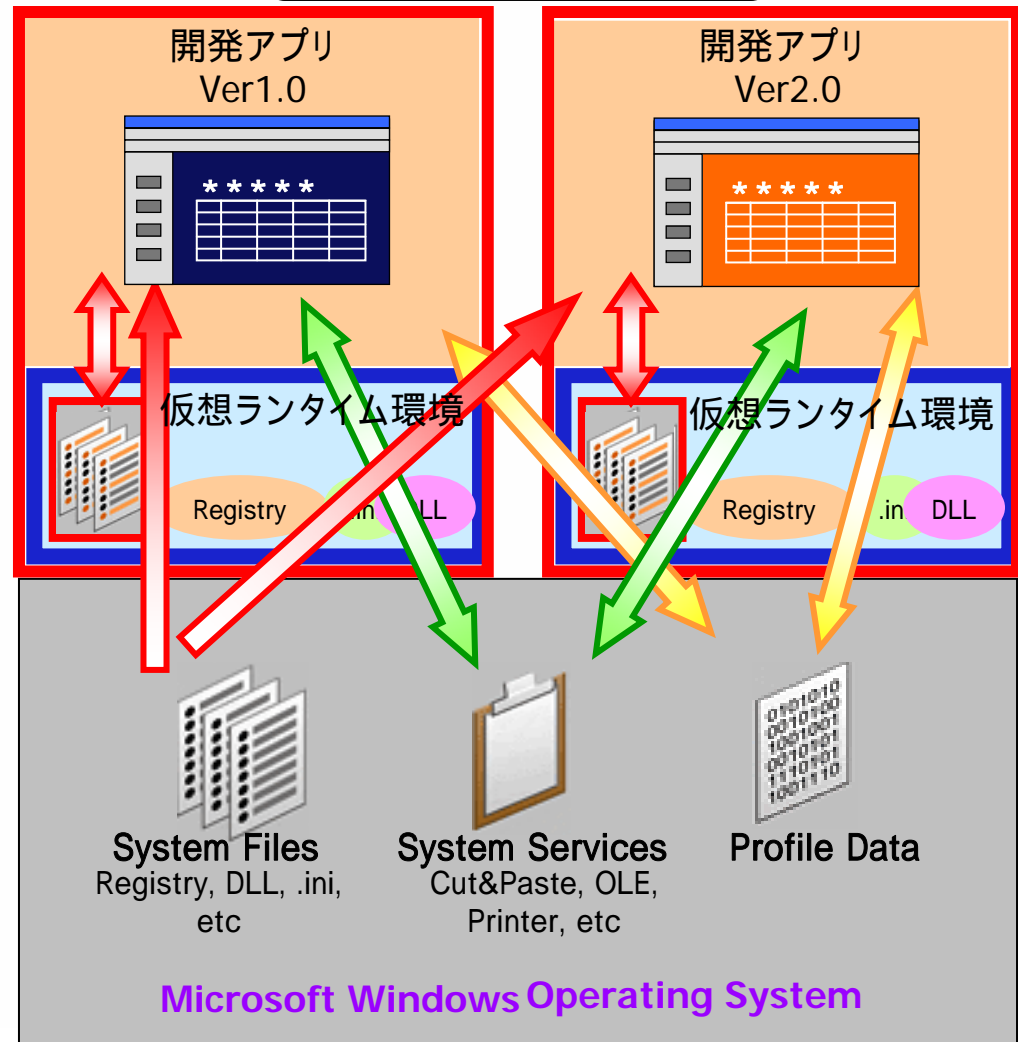
ICOファイル

仮想アプリケーションの動作

Without SoftGrid

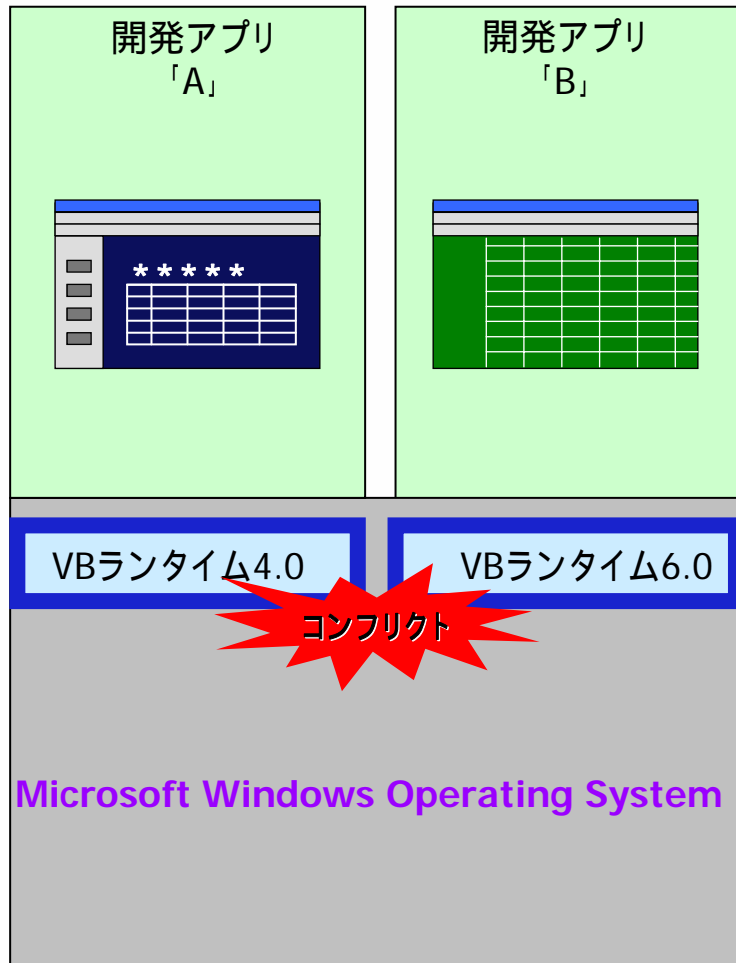


With SoftGrid

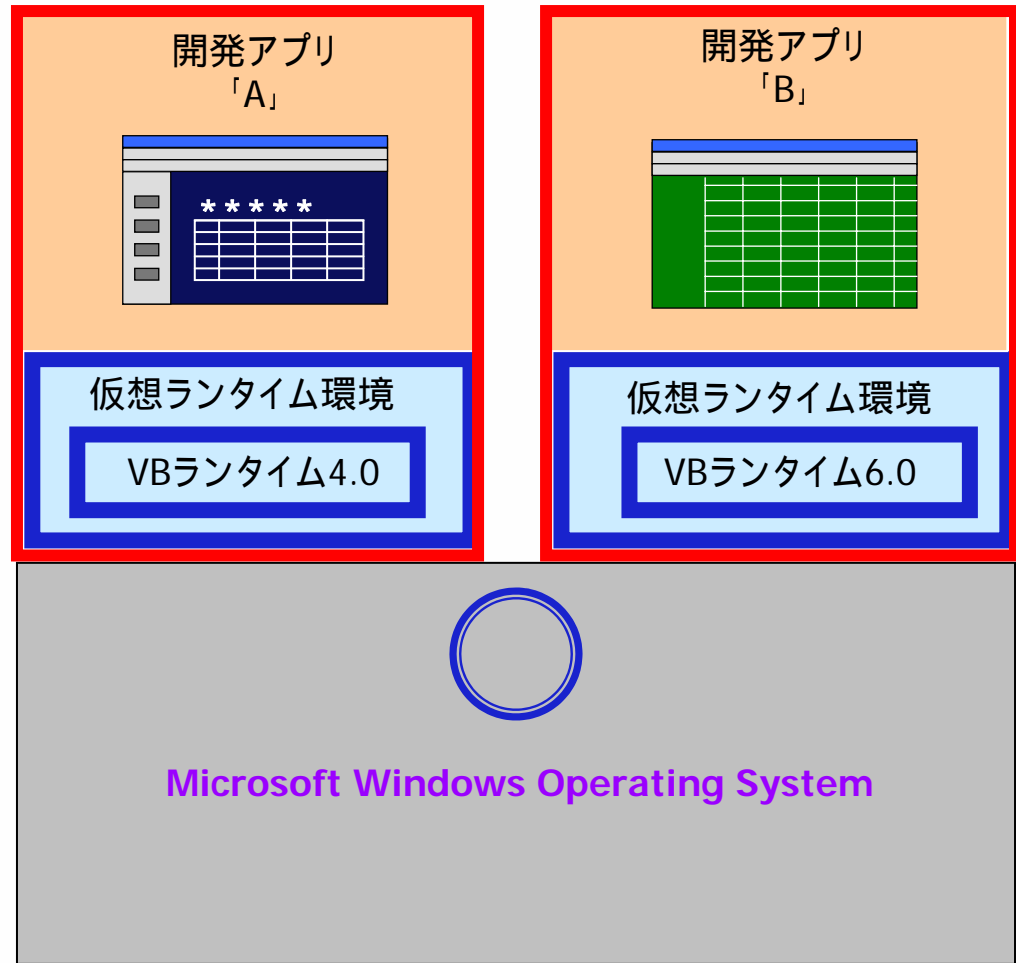


仮想アプリケーションの特徴

Without SoftGrid



With SoftGrid

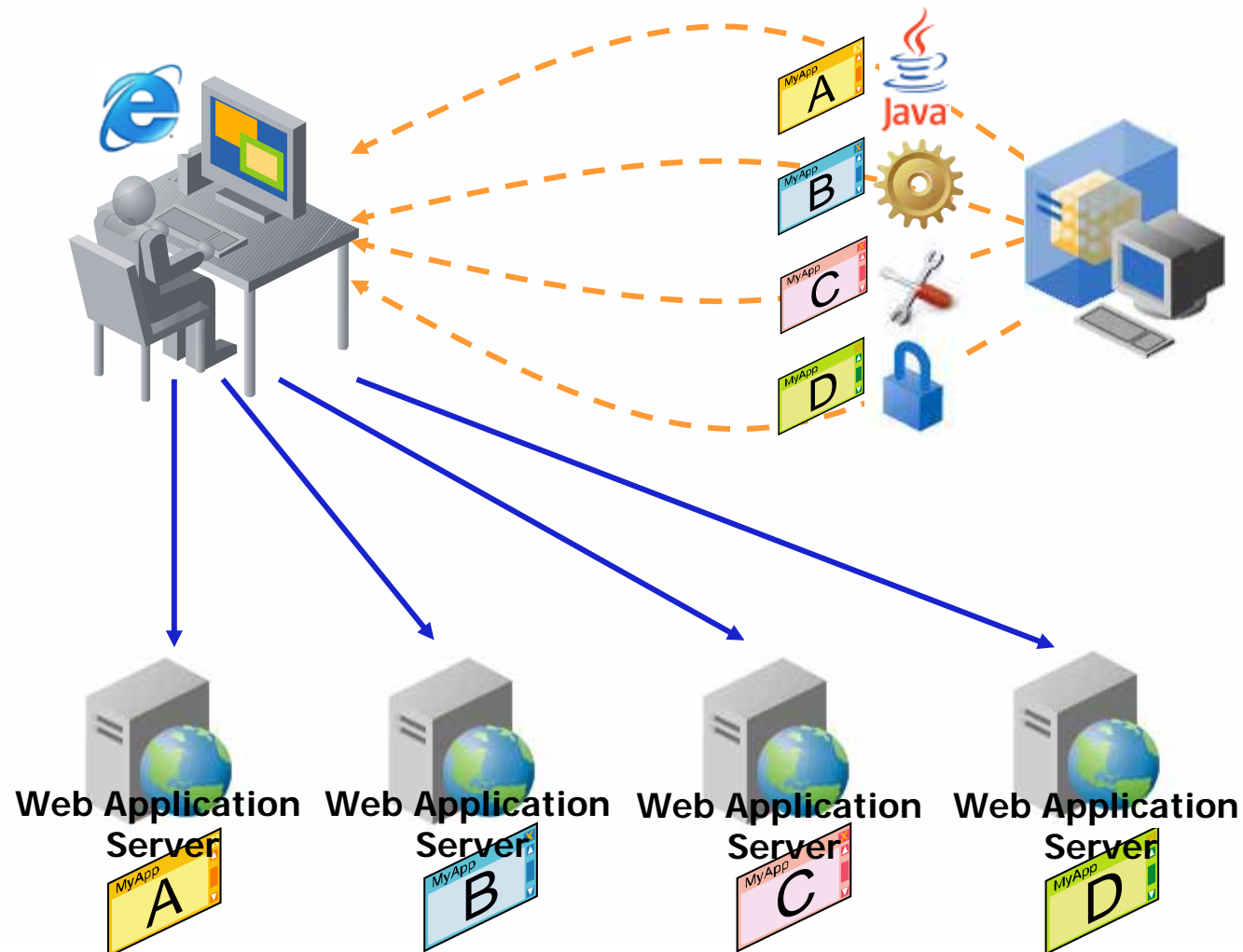


仮想アプリケーションの応用

- アプリケーションの各種設定情報
 - データベースサーバーへの接続情報
 - アプリケーションごとに依存する設定情報(環境設定情報)
- ランタイム環境、データベースアクセス用モジュール
 - Java RuntimeやVB Runtime環境等
 - Oracle ドライバ, SQL, MDAC など
- WebアプリケーションのInternet Explorer に依存する設定情報
 - 各種プラグイン(Flash, Java Runtime Environmentなど)
 - IEの環境設定(セキュリティ設定、ツールバーの表示など)

SoftGridでのWebアプリケーション展開

ローカルのIE環境に影響を受けずにSoftGridから利用環境を配信することが可能



配信できる Internet Explorer 環境

ローカルのIE環境に影響を受けずにWebアプリケーション毎に必要な環境を展開

- 利用フォントの指定
- セキュリティレベルの設定をコントロール
 - ActiveX実行、JavaScript実行、JavaVM許可
- プラグインツールの配信
 - Flash、Shockwave
- ツールバー、アドレスバーの非表示
- ウィンドウの新規作成禁止
- 印刷機能使用不可
- オートコンプリート機能使用不可
- プロキシサーバーの設定
- 右クリックの使用不可
- **UserAgent**の設定



Internet Explorer 管理者キット (IEAK) を利用して設定したものをアプリケーション毎に展開することが可能

アプリケーションの展開から実行 ~ On-demand Delivery ~



Application Virtualization

仮想化



On-Demand Delivery

展開



Policy-based Management

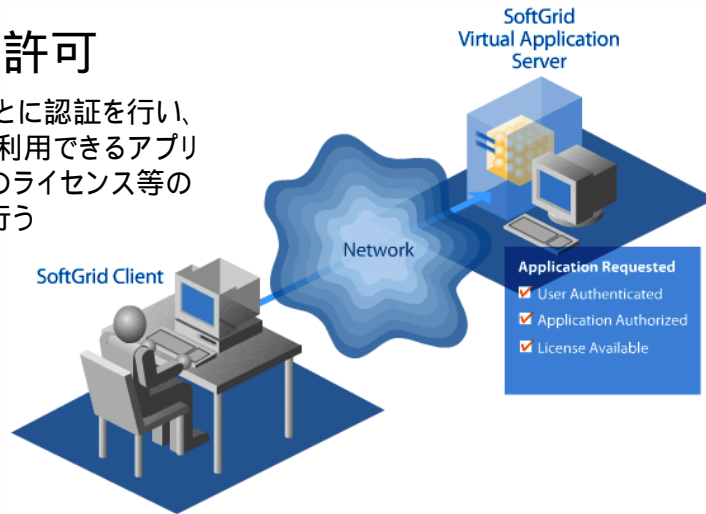
集中化

SoftGrid Platform

配信の仕組み

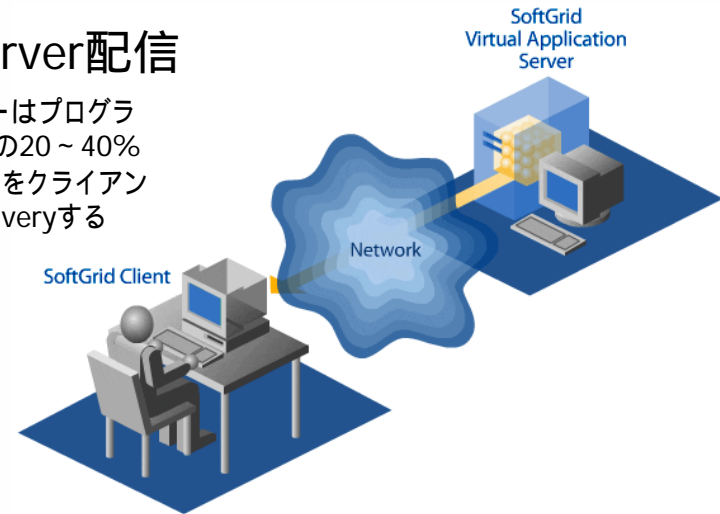
1. 利用許可

ユーザーごとに認証を行い、サーバーで利用できるアプリケーションのライセンス等のチェックを行う



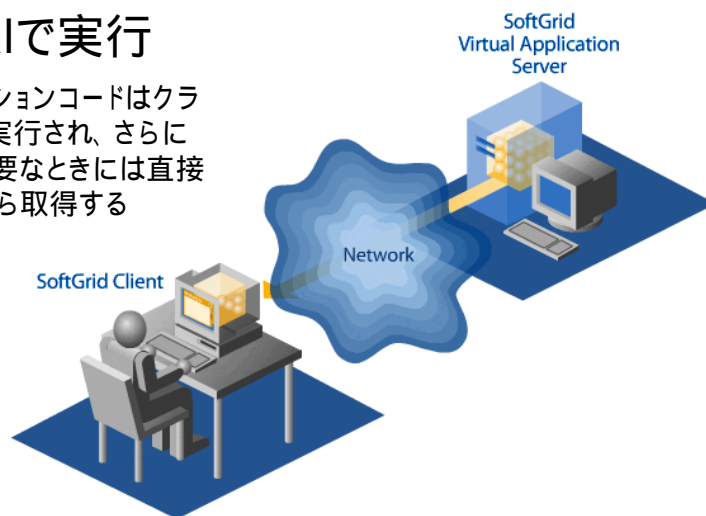
2. Server配信

サーバーはプログラム全体の20～40%のコードをクライアントにDeliveryする



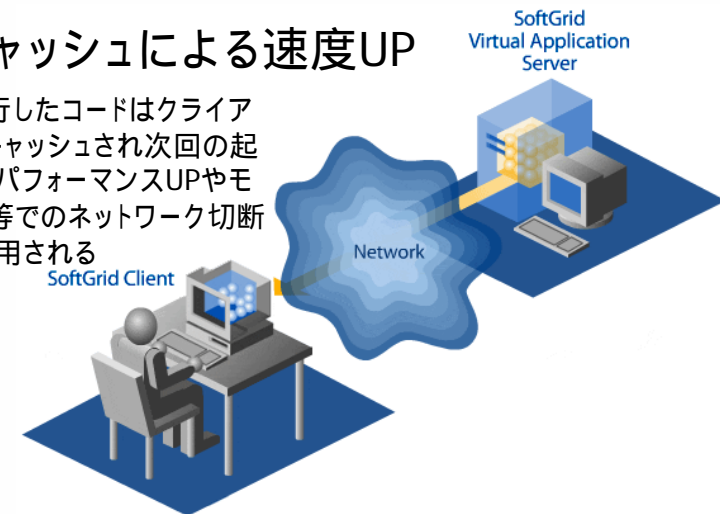
3. Localで実行

アプリケーションコードはクライアントで実行され、さらにコードが必要ときには直接サーバーから取得する



4. キャッシュによる速度UP

1度実行したコードはクライアントにキャッシュされ次回の起動時のパフォーマンスUPやモバイル等でのネットワーク切断時に利用される



アプリケーションの集中化 ~ Policy-based Management ~



Application Virtualization

仮想化



On-Demand Delivery

展開



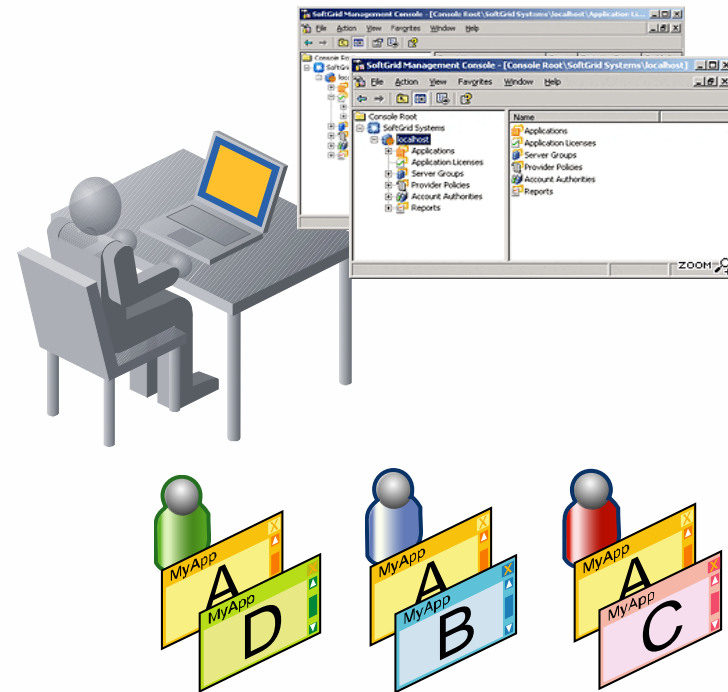
Policy-based Management

集中化

SoftGrid Platform

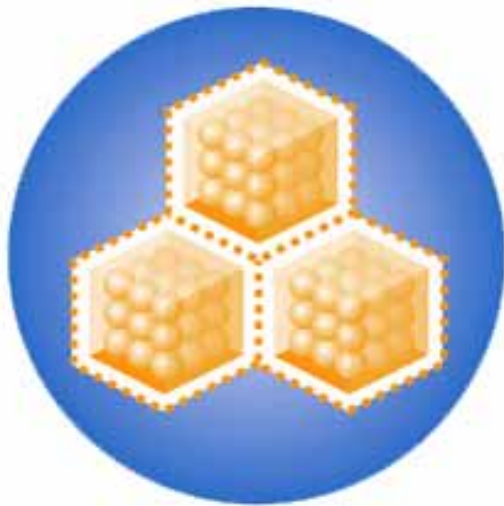
管理機能

- **SoftGrid Management Console**
 - サーバーの設定
 - アプリケーショングループの作成
 - ライセンス管理などの設定が可能
- **利用者の設定の連携**
 - Microsoft Active Directory
 - NT4ドメイン
- **管理機能**
 - ライセンス管理
 - ユーザーの使用状況管理

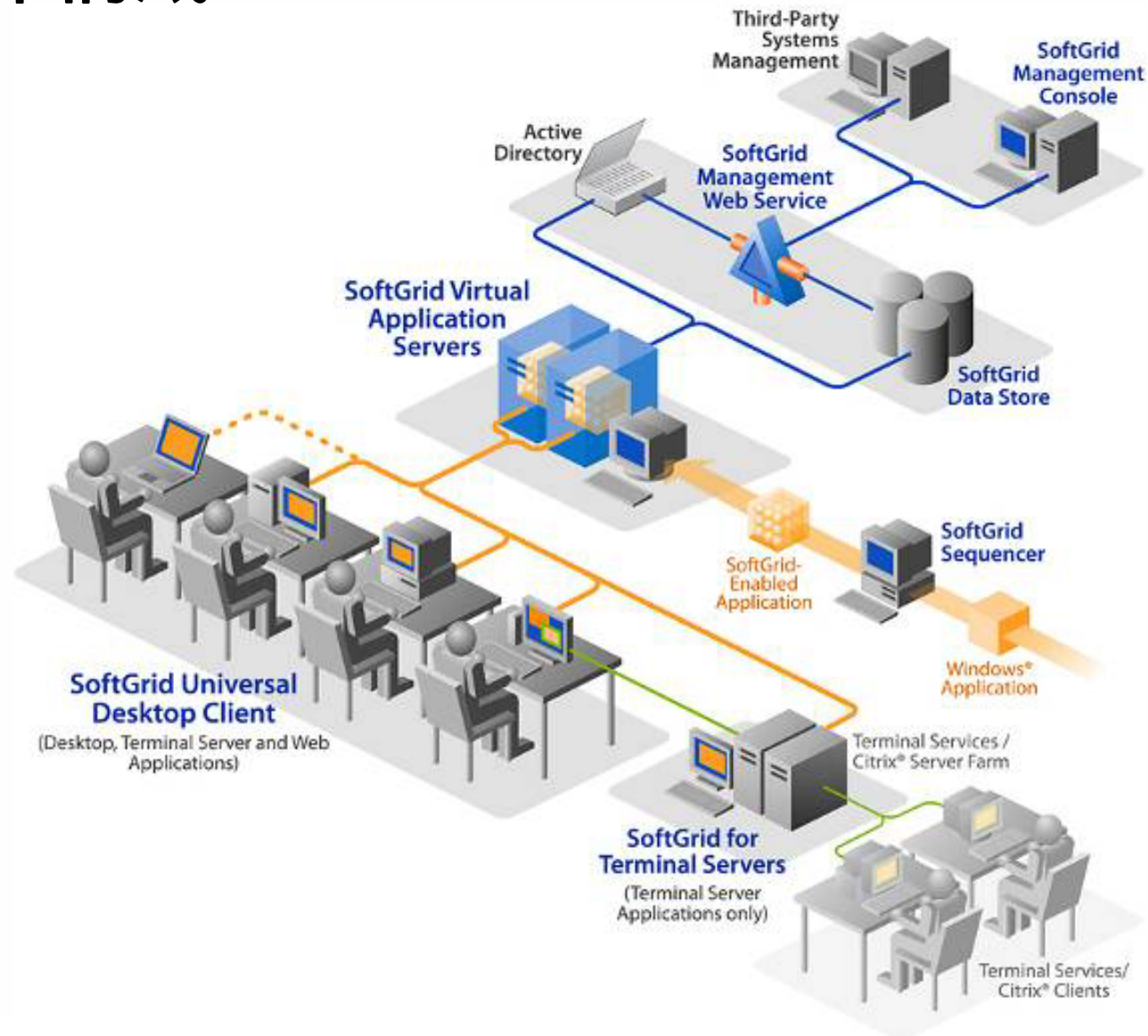


利用権限のないアプリケーションは使えない環境へ

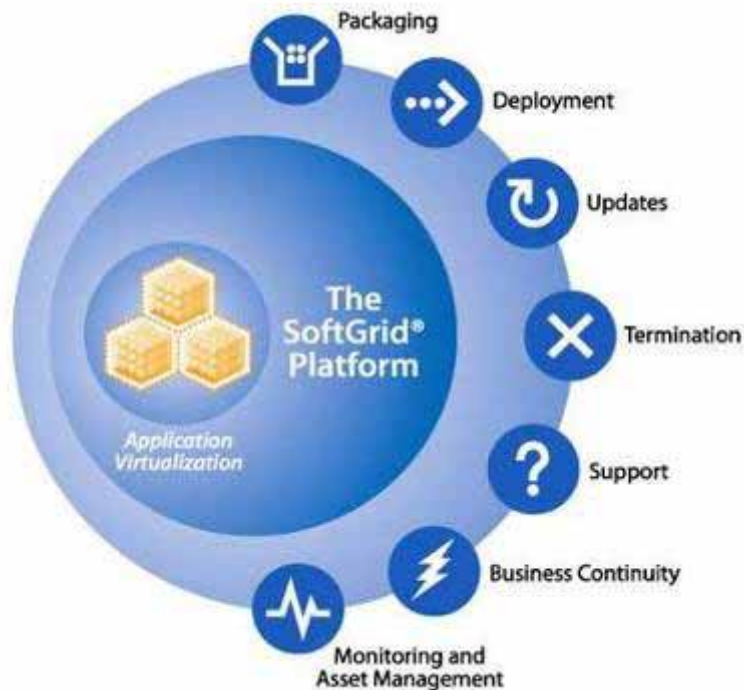
これからのアプリケーションマネジメント



全体構成



次世代型アプリケーションマネジメントの実現



- アプリケーションを動かす環境ごと仮想化
- 仮想化したアプリケーションを迅速に配備
- 仮想化したアプリケーションをサーバー側で変更
- 不要になったアプリケーションを迅速に消去
- 障害時にアプリケーションの環境を迅速に復旧
- 配信したアプリケーションの利用状況を把握
- 配信したライセンスを管理

現在の企業システムの改善

- 企業システム環境の変化
 - パソコン台数、利用するアプリケーション数の増加
 - アプリケーションのテストの増加
 - アプリケーションのバージョンアップが増加
 - セキュリティのためのパッチ適用の頻発
 - ライセンスコンプライアンスなどの問題・・・etc

バージョンアップが・・・

アプリケーションが動かない・・・

アップデートが・・・

環境移行が・・・



セキュリティが・・・

管理が・・・

ライセンスが・・・

コストが・・・

クライアント環境を管理



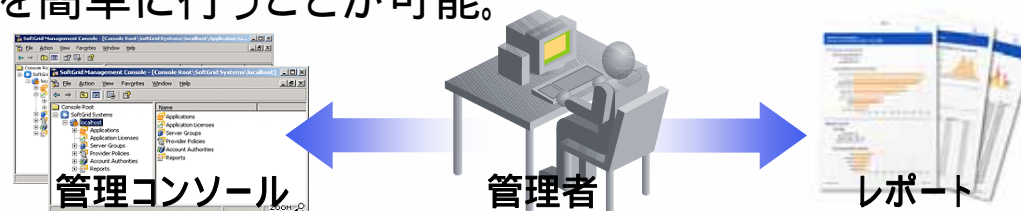
- ユーザーが勝手にアプリケーションをインストールしてしまうので…
- どれくらいアプリケーションを利用しているのだろう…
- ライセンスコンプライアンスが守られているのだろうか…

お答えします。その答えはSoftGrid！

- ! SoftGrid はクライアントPCがユーザー権限でも即時アプリケーションの展開から利用までが可能です。インストールや設定のために管理者権限を与えておく必要はもうございません。



- ! SoftGridは利用状況を把握するレポート機能を標準で装備。さらにアプリケーションごとにライセンス権限(無制限・同時接続・ユーザー個別利用)といった設定を簡単に行うことが可能。



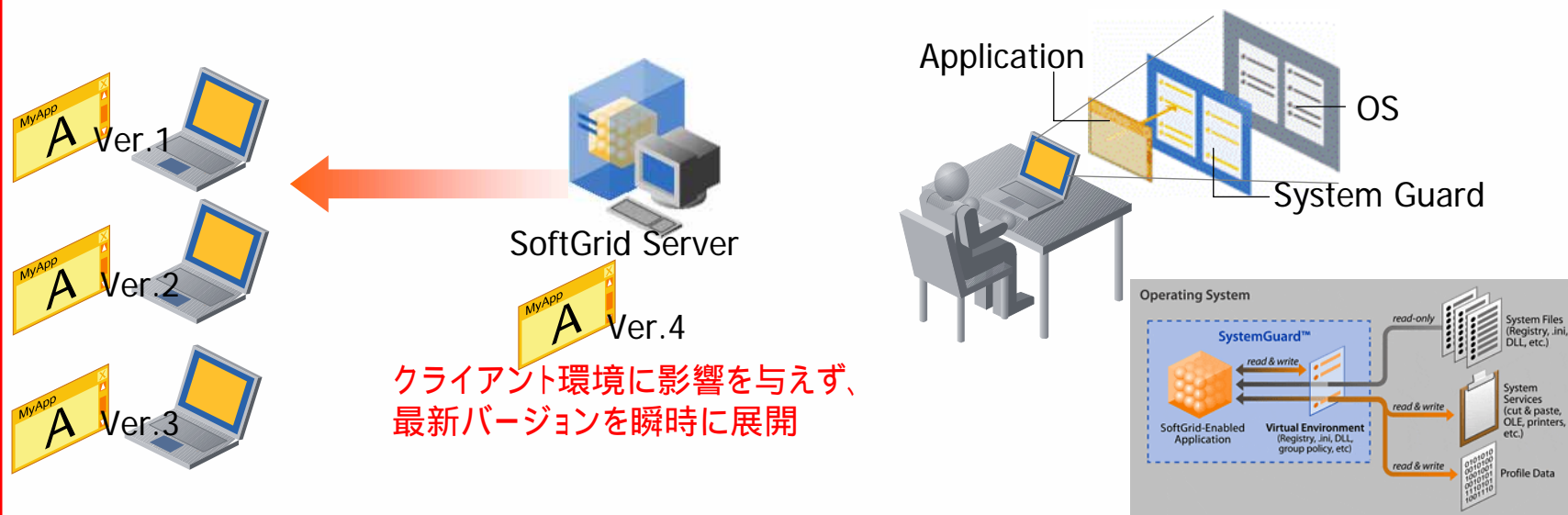
アプリケーションのバージョンを管理



- 使用するアプリケーションのバージョンを統一したい。
- アプリケーションがコンフリクトをして動かない
- 新旧のバージョンのアプリケーションを、1台のPCで使いたい。
- 新バージョンへの移行をスムーズにしたい。

お答えします。その答えはSoftGrid !

! SoftGrid はOS上の「System Guard」と呼ばれる仮想ランタイム環境で実行します。クライアントOSのレジストリに直接情報を書き込んだり、システム領域に変更を加えないため、アプリケーション同士のコンフリクトを起こしません。



アプリケーションの複雑性から脱却

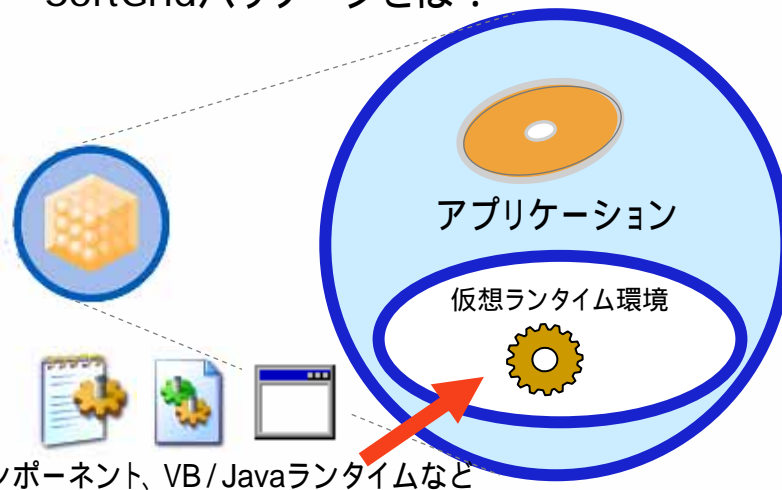


- 必要なコンポーネントをクライアントにインストールさせなければならない。
- 複数のアプリケーションをインストールや設定をしなければならない。
- ランタイム環境をアプリケーションごとに別々のバージョンで利用したい。

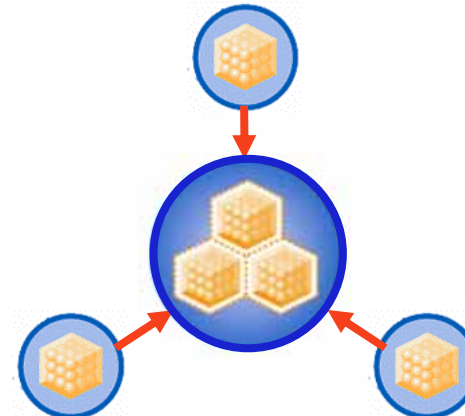
お答えします。その答えはSoftGrid！

！ SoftGrid はOS上の「System Guard」と呼ばれる仮想ランタイム環境に通常OSに持つさまざまなコンポーネントやVBやJavaなどのランタイム環境を組み込むことが可能です。よってOS上でコンフリクトしていた問題を回避できます。

SoftGridパッケージとは！



複数のアプリケーションを1つのパッケージをすることも可能！



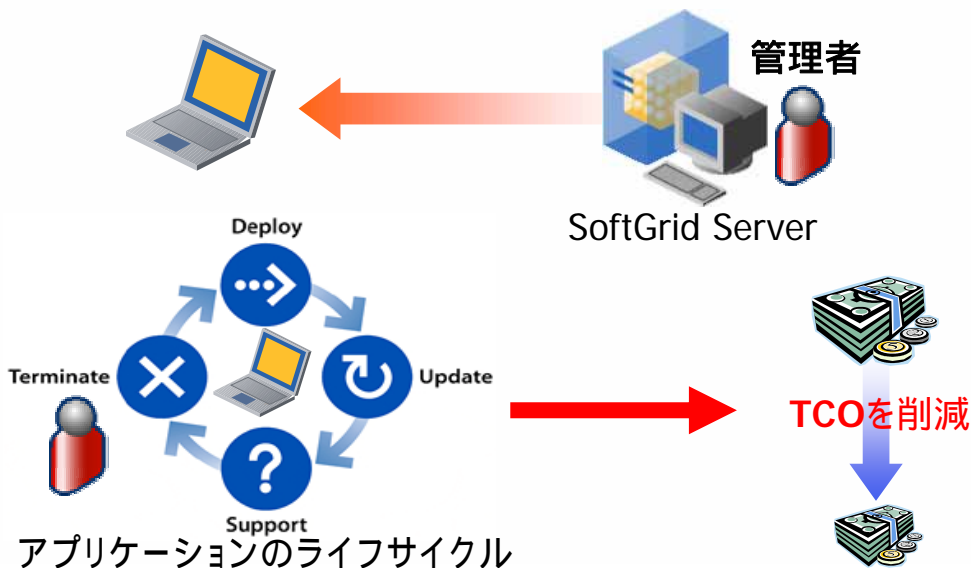
アプリケーションのライフサイクルを管理



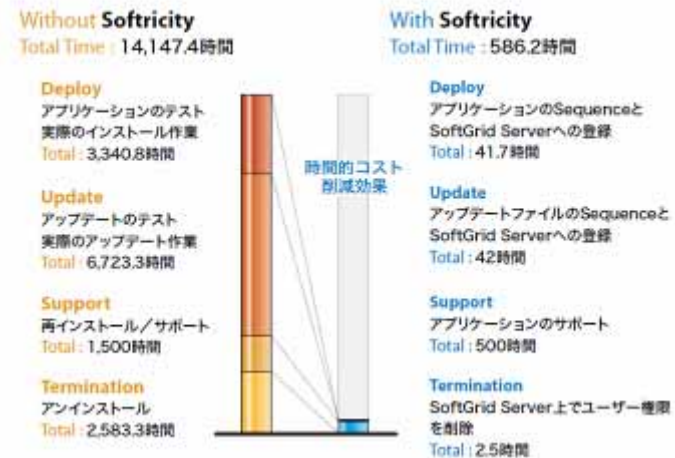
- クライアントごとのインストール作業にコストが・・・
- バージョンアップ、アップグレードにコストが・・・
- サポートにコストが・・・
- 拠点のアプリケーションサポートにコストが・・・

お答えします。その答えはSoftGrid !

! SoftGrid はDeploy (展開・配布方法)、Update (アップデートやパッチ当て)、Support (サポートや再インストール作業)、Termination (アンインストール) といったアプリケーションのライフサイクルをトータルに管理することが可能です。



10のアプリを1000クライアントに3年間利用させる場合の時間的コストの比較



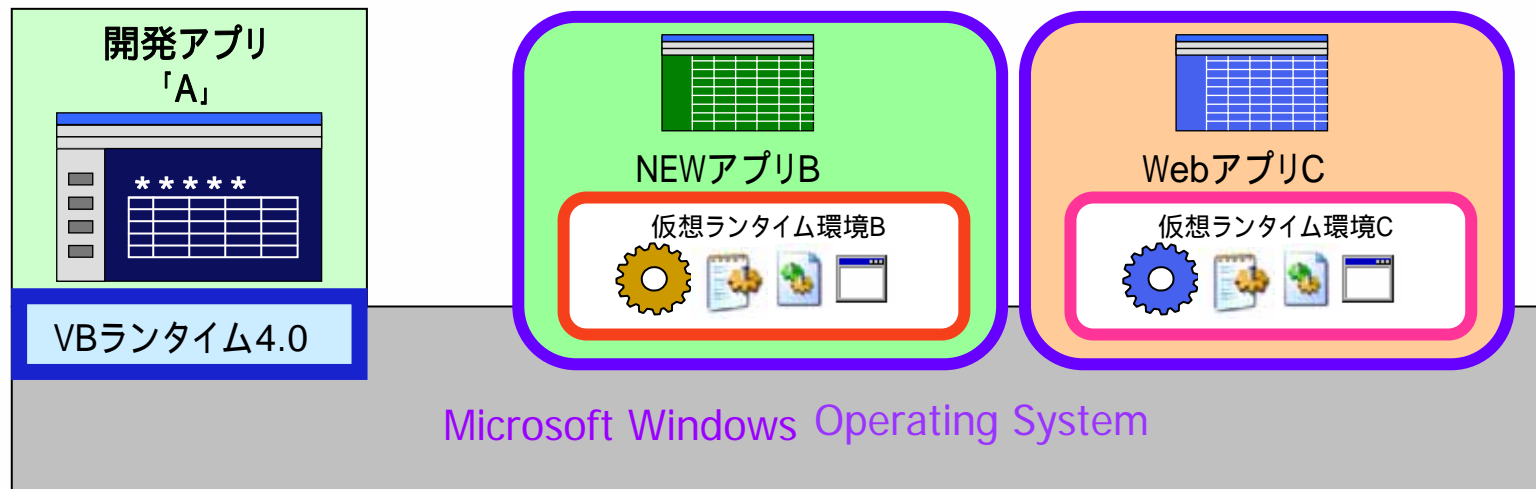
アプリケーションの新規導入



- 現在のクライアントに古い環境で開発したアプリケーションが入っている。
- 新しい開発環境で作成したアプリケーションの導入をスムーズに進めたい。
- テストコスト・導入時・導入後のサポートコストを削減したい。

お答えします。その答えはSoftGrid !

! SoftGrid は「System Guard」と呼ばれる仮想ランタイム環境でアプリケーションを動作させます。よってクライアントOS上に別のランタイム環境で動作するアプリケーションがあっても衝突することなく安全に稼働させることが可能です。

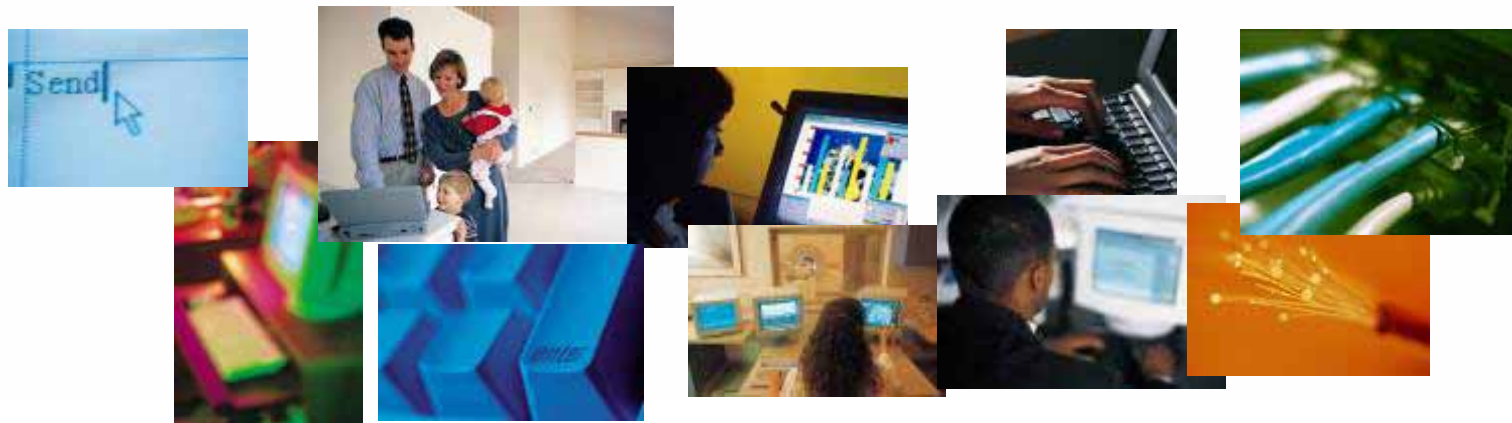


アプリケーションプラットフォームへ

電気・ガス・水道のように



様々なアプリケーションを仮想化し
ネットワークを通して確実に利用する環境へ



お問い合わせ

- 本資料に関して

記載された社名・製品名は、各社の商標、または登録商標です。
本資料は2006年4月現在の内容となります。
本資料は予告なく変更される可能性があります。

- Softricity社に関して

<http://www.softricity.com>



- 本資料のお問い合わせ先

ソフトバンクBB株式会社 コマース&サービス統括
BBソリューション推進部
Email : sbb-softricity@bb.softbank.co.jp

